

## 本当の友だち

3年 H・Tさん

この物語に出てくるガルドは、さみしい人だけ見えるわにおぼけです。そして、主人公のヒナと同級生のアヤカだけがガルドを見ることが出来ます。アヤカは、ヒナの前でないから、意地をはらなくてよくなりました。なので、アヤカはヒナの前ではす直になれます。アヤカの近くには、たくさんの友だちがいましたが、アヤカは本当の友だちがいなくてさみしかったからガルドが見れたのだと思います。私が思う本当の友だちとは、自分のありのままのすがたを出せる人だと思っています。私には本当の友だちがいます。

私が6才の時、足の病気で一か月入っていました。同じへやの女の子は、交通じこで、自由に足を動かせない子でした。ある日、私の母が面会に来た時に、その子が急にカーテンをしめました。私はすぐ友だちがトイレのためにしめたのだと気づきました。母は、なぜカーテンをしめたのか分かっていません。その後、その子はカーテンを開けて気まずそうにしていました。私はその顔を見て、私がい病いんに来る時、弟のベビーカーにのって来て、みんなにジロジロ見られてはすかしかった話をしました。友だちだけはすかしい思いをしてほしくなかったからです。私は、ようち園で、ないたことがないのですが、その子の前では何回もないたことがあります。コロナのため親との面会は、一日一時間だけでした。夜は急にさみしくなり、こわくもなります。その子は、私がねる時、ずっと話しかけてくれたので、さみしさをわすれてねむることができました。

友だちは、たくさんいることやよく会うことではなく、ありのままの自分でいられるか、おたがいを思いやることができるかが大切だと思います。

ヒナとアヤカが友だちになったことを読み、私も友だちに会いたくなりました。